

# バスケットボールとアフリカ系アメリカ人の結びつきに関する一考察

## A study of the connection between basketball and African-American

1K10C412-3 三井 優和

指導教員 主査 友添秀則 先生 副査 杉山千鶴 先生

### 【序章】 研究の目的と方法

アメリカのバスケットボールの試合を見ると、気がつくことがある。それは人種の割合についてであり、黒人が多く、白人が少ないことである。たとえば現在、バスケットボールの世界最高峰のリーグである NBA では、全体の約8割が黒人選手で占められている。このように、今日、バスケットボールは一般的に黒人選手が行うスポーツだと考えられている傾向がある。

しかし、バスケットボールが考案された当初は、白人選手の割合が多く、黒人のスポーツとは考えられていなかった。白人のスポーツであったバスケットボールは、いつから黒人のスポーツとして考えられるようになったのだろうか、また、どのような経緯でそうなったのだろうか。このような疑問を背景に本研究では、アフリカ系アメリカ人がバスケットボールで頭角を現すまでを、文献を用いて明らかにすることを目的とする。

### 【第一章】

第一章においては、どのような社会背景からバスケットボールが考案されたのかを明らかにするとともに、考案された後にどのような経緯でバスケットボールがアメリカにおいて普及し、発展したかについても明らかにした。これにくわえて当時バスケットボールをプレーしていたのは主に黒人以外であったことについても明らかにした。

### 【第二章】

第二章においては、第一章で明らかにしたバスケットボールの歴史の中に、黒人がどのようにして介入してきたのかを、黒人にバスケットボールを広めた重要人物を踏まえながら明らかにした。

### 【第三章】

現存している世界最高峰プロバスケットボールリーグである NBA にいつ頃から選手の大多数を黒人が占めるようになったのかを明らかにし、同時に時代毎の黒人選手の位置づけについても明らかにした。

### 【結章】

本研究の目的は、誕生当初は白人のスポーツであり、

全く黒人のスポーツとして考えられていなかったバスケットボールがどのようにして、また、いつ頃から、黒人のスポーツとして考えられるようになったのかを明らかにすることであった。まず、どのようにして黒人のスポーツとして考えられるようになったのかについては、以下の要素を指摘した。

①プレーしやすい環境

②人種差別撤廃運動という社会的背景

③ルール改正の影響

この3つの要素から次第に黒人のスポーツと考えられるようになったのであると考えられる。

次に、いつから黒人のスポーツと考えられるようになったのかについてであるが、これについては定かではない。しかし、私は2つの転換期によって、バスケットボールが黒人のスポーツと考えられるようになったのではないかと考える。1つ目の転換期は1930年代～1940年代である。この時代は、ニューヨーク・ルネサンスとハーレム・グローブ・トロッターズの2つの黒人プロ巡業チームが驚異的な勝率を残していた時代である。この2つのチームがプロの巡業チームとして全米を回りながら勝ち続けたことで、全米の人々に黒人選手の実力が広まり、黒人へのバスケットボールの普及が全米で成し得たのではないだろうか。

2つ目の転換期は、1960年代～1970年代である。この時代は、プロリーグでも大学でも黒人選手が活躍し、結果を残していた。この時代に、バスケットボール＝黒人のスポーツというイメージが人々の頭の中に出来上がった可能性は認められよう。

以上のように、1930～1940年代と1960年代～1970年代の2つの時代に黒人選手が存在感を強く示したことで、人々の頭の中にバスケットボールは黒人が行うスポーツだと定着していったのだと推察し得る。